

SHOW HEYシネマルーム

★★★

バリスティック

配給/ギャガ・ヒューマックス

2003 (平成15) 年7月22日鑑賞

<ヘラルド試写室>

Data

監督: カオス

出演: アントニオ・バンデラス/ル
ーシー・リュウ/レイ・パー
ク/グレッグ・ヘンリー/タ
リサ・ソト

👁️👁️ みどころ

『Fah』で大ブレイクしたカオス監督が『チャーリーズ・エンジェル』で大ブレイクした中国系ハリウッド女優ルーシー・リュウを主演として起用した大活劇。銃や火器での大アクションと棒術、マーシャル・アーツでの格闘技など見せ場は盛りだくさん。理屈抜きで楽しめる大活劇だ。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

<バリスティックとは?>

「バリスティック」とは弾道のこと。パンフレットによると「交差する銃弾の幾何学。」というフレーズがある。わかったようなわからないようなキャッチコピーだ。そして「決して、敵に回したくない女。」がキーワード。これは実によくわかる。

<カオス監督とルーシー・リュウの抜擢>

カオス監督はタイ、バンコク出身で1973年生まれ。この映画がハリウッドデビュー作だ。カオス監督がバンコクで制作した『Fah』(1998年、未公開)は、1998年タイで公開されるや歴代興行収入No1の記録を更新した。その実績によって、彼がこの映画の監督に抜擢されたわけだ。

ルーシー・リュウは、あの、史上最強の美女達の活躍を映画化した『チャーリーズ・エンジェル』(2000年)で一躍有名になり、現在公開中の第2作『チャーリーズ・エンジェル フルスロットル』(2003年)でも大フィーバーしているアメリカ国籍の中国系(?)の美人女優。この映画では、彼女は元国防情報局(DIA)の「殺人マシーン」であったシーバーに扮して、主演として大活躍だ。

<相棒は元FBI捜査官>

当初はシーバー（ルーシー・リュウ）と敵対するものの、途中からは相棒となる元FBI捜査官エクスを演ずるのはアントニオ・バンデラス。2人の共通の目的は悪役、DIA長官ガント（グレッグ・ヘンリー）への仇討ちだ。果してガントは一体どんな悪事を働いたのだろうか・・・？実はガントは・・・。

ガントが恨まれるについては、①長官ガントの息子マイケルの誘拐事件の発生、②しかしその背景には、ベルリンの生物兵器工場からガントが盗み出した新兵器《ソフトキル》が関与していたこと、③《ソフトキル》とは人間の体内に潜みターゲットを瞬時に死に至らしめるという生物兵器であること、④ガントは息子マイケルの体内にこの《ソフトキル》を埋め込んで手に入れようとしていたこと等、それなりのストーリーがある。しかし、この映画を観るについては、そんなややこしいストーリー紹介は一切不要だ。

<スカッとさわやか大活劇>

シーバーもエクスもプロ中のプロ。従って、銃や火器の扱いはお手のもの。火薬を多用した大活劇の迫力にはただ脱帽。そして、シーバーがみせる超一流の棒術やマーシャル・アーツを使った格闘技にはホレボレ。単純にそういう活劇を楽しめれば十分だ。

もっとも、ルーシー・リュウは1968年生まれだから、今は35才。失礼ながら、ちょっとトウが立ってきたかな、という感じがしないでもないが・・・。

2003（平成15）年7月23日記